



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月10日

上場取引所 名

上場会社名 中部水産株式会社

コード番号 8145 URL <http://www.nagova-chusui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉川 輝喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 鈴木 祥司

TEL 052-683-3001

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|-------|------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 32,453 | 0.8 | 199 | 34.9 | 284 | 13.5 | 176 | 25.0 |
| 27年3月期第3四半期 | 32,209 | 2.2 | 148 | △10.5 | 250 | △1.3 | 141 | △13.4 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 9.90 | — |
| 27年3月期第3四半期 | 7.88 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 16,824 | 12,679 | 75.4 |
| 27年3月期 | 14,687 | 12,307 | 83.8 |

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 12,679百万円 27年3月期 12,307百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 4.00 | — | 4.00 | 8.00 |
| 28年3月期 | — | 4.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 4.00 | 8.00 |

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 42,000 | 0.7 | 150 | 13.6 | 260 | △0.6 | 130 | 30.0 | 7.30 |

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 28年3月期3Q | 19,269,000 株 | 27年3月期 | 19,269,000 株 |
| 28年3月期3Q | 1,453,119 株 | 27年3月期 | 1,452,706 株 |
| 28年3月期3Q | 17,816,166 株 | 27年3月期3Q | 17,906,793 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第3四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和策を背景に、企業業績や雇用・所得環境に持ち直しの動きが見られるなど、引き続き緩やかな回復基調で推移しましたが、原油価格の大幅な下落、中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念などもあって、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、水産物資源の管理強化や天候不順による不安定な漁獲状況に加えて、需要の低迷や市場外流通との競争激化により市場物流の低下傾向が続いており、海外の需要増による水産物調達コストの上昇が利益を圧迫する要因となるなど、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような外部環境のもとで、当社は、変化するマーケットや激化する販売競争に対応した集荷、営業活動を積極的に展開するとともに、業務の効率化や諸経費の削減を図るなど、収益の向上と企業体質の強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、卸売部門が取扱数量の減少により微減収となりましたが、兼業部門の飼料販売が順調な受注で伸長し、32,453百万円(前年同四半期比0.8%増加)となりました。経常利益は、増収と利益率の改善による売上総利益の増加と諸経費の削減により、284百万円(前年同四半期比13.5%増加)となり、四半期純利益は、176百万円(前年同四半期比25.0%増加)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚は、暖冬によりカキ、マダラなどの鍋物商材の荷動きが悪く、輸入生鮮キハダの搬入減、サバ類、メジの不漁、浜値高のホタテ貝柱の入荷減などによる売上減はありましたが、国内の生鮮キハダ、サワラ類の入荷増、冷凍マグロの赤身商品の需要増、ウナギ、サケ、ヤリイカの取扱数量の増加、車エビの単価高などにより増収となりました。

冷凍魚は、南方凍魚の漁獲減、冷ギンダラ、チリ産銀サケ、凍菜類の高値による低調な荷動き、冷バナメイエビの生産減による売上減があったものの、冷カニが高値に拘らず活発な荷動きとなり、冷ホタテ、アルゼンチン赤エビ、トラウトサーモンの順調な販売、冷タリイカの原料販売の増加などにより増収となりました。

塩干魚は、カズノコ、イクラなどの魚卵製品が量販店を中心に堅調な荷動きとなり、チリメンが好漁で売上増となりましたが、ロシア海区での時サケの漁獲規制、純煉製品の鍋物需要等の減少、原料事情から値上げしたアジ、ホッケの開き物、玉子製品の取扱数量の減少が響き、減収となりました。

売上高は30,371百万円(前年同四半期比0.1%減)、営業利益は343百万円(前年同四半期比3.5%増)となりました。

(飼料工場部門)

養鰻用飼料は、国内向け飼料がシラス池入れ量の減少により販売数量が減少したものの、輸食用飼料の取扱数量が増加したことに加え、水産向け魚粉を含め、原料高の製品価格への転嫁も寄与し、売上高は1,209百万円(前年同四半期比24.7%増)、営業利益は63百万円(前年同四半期比40.4%増)となりました。

(食品加工場部門)

焼ハタハタなどの委託加工物が減少しましたが、佃煮原料の切イカ、イカの串足が新規販売先の開拓により売上増となり、塩カズノコの委託加工、ポット商品や黄金漬けなど惣菜物が伸長し、売上高は335百万円(前年同四半期比14.6%増)、営業損失は24百万円(前年同四半期は営業損失は29百万円)となりました。

(冷蔵工場部門)

塩鮭鱒、サンマ、青果物及び外国貨物の取扱量は減少しましたが、チリ産銀サケフィーレ、コンビニ向け冷凍食品、給食関係貨物の取扱いが増加し、売上高は453百万円(前年同四半期比0.8%増)、営業利益は64百万円(前年同四半期比5.5%増)となりました。

(不動産賃貸部門)

売上高は82百万円(前年同四半期比1.3%減)、営業利益は47百万円(前年同四半期比2.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、16,824百万円となり、前事業年度末に比べ2,136百万円(14.5%)増加しました。これは主に、現金及び預金の減少372百万円などがありましたが、受取手形及び売掛金の増加1,507百万円、投資有価証券の増加998百万円などによるものであります。

負債は、4,144百万円となり、前事業年度末に比べ1,764百万円(74.1%)増加しました。これは主に、賞与引当金の減少36百万円などがありましたが、買掛金の増加1,469百万円、受託販売未払金の増加73百万円などによるものであります。

純資産は、12,679百万円となり、前事業年度末に比べ372百万円(3.0%)増加しました。これは、その他有価証券評価差額金の増加338百万円、利益剰余金の増加33百万円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、平成27年11月13日発表の通期の業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日) |
|-------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,842,971 | 2,470,220 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,963,215 | 3,470,483 |
| 有価証券 | 3,499,996 | 3,500,000 |
| 商品及び製品 | 1,013,822 | 1,324,458 |
| 仕掛品 | 40,926 | 52,600 |
| 原材料及び貯蔵品 | 291,948 | 483,888 |
| その他 | 64,122 | 64,488 |
| 貸倒引当金 | △12,685 | △20,916 |
| 流動資産合計 | 9,704,317 | 11,345,223 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 993,526 | 945,038 |
| その他(純額) | 742,912 | 736,616 |
| 有形固定資産合計 | 1,736,439 | 1,681,654 |
| 無形固定資産 | 10,189 | 12,587 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,305,190 | 3,303,654 |
| その他 | 973,908 | 517,479 |
| 貸倒引当金 | △42,768 | △36,542 |
| 投資その他の資産合計 | 3,236,330 | 3,784,591 |
| 固定資産合計 | 4,982,960 | 5,478,834 |
| 資産合計 | 14,687,277 | 16,824,057 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,364,504 | 2,834,162 |
| 受託販売未払金 | 127,061 | 201,006 |
| 未払法人税等 | 25,280 | 24,297 |
| 賞与引当金 | 53,700 | 17,683 |
| 役員賞与引当金 | 12,500 | — |
| その他 | 235,399 | 413,822 |
| 流動負債合計 | 1,818,446 | 3,490,971 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 472,392 | 445,992 |
| その他 | 89,257 | 207,811 |
| 固定負債合計 | 561,649 | 653,804 |
| 負債合計 | 2,380,096 | 4,144,775 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,450,000 | 1,450,000 |
| 資本剰余金 | 1,045,772 | 1,045,772 |
| 利益剰余金 | 10,117,602 | 10,151,460 |
| 自己株式 | △591,852 | △591,961 |
| 株主資本合計 | 12,021,521 | 12,055,271 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 285,660 | 624,010 |
| 評価・換算差額等合計 | 285,660 | 624,010 |
| 純資産合計 | 12,307,181 | 12,679,281 |
| 負債純資産合計 | 14,687,277 | 16,824,057 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 32,209,157 | 32,453,570 |
| 売上原価 | 30,737,766 | 30,942,251 |
| 売上総利益 | 1,471,390 | 1,511,319 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,323,104 | 1,311,349 |
| 営業利益 | 148,285 | 199,970 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10,955 | 10,743 |
| 受取配当金 | 31,362 | 39,091 |
| 受取補償金 | 23,313 | — |
| 受取手数料 | 27,043 | 26,190 |
| その他 | 9,658 | 10,088 |
| 営業外収益合計 | 102,333 | 86,114 |
| 営業外費用 | | |
| 雑損失 | 0 | 1,545 |
| 営業外費用合計 | 0 | 1,545 |
| 経常利益 | 250,618 | 284,538 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 35,348 | — |
| 解約違約金 | — | 18,800 |
| 特別損失合計 | 35,348 | 18,800 |
| 税引前四半期純利益 | 215,270 | 265,738 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 58,570 | 55,788 |
| 法人税等調整額 | 15,618 | 33,562 |
| 法人税等合計 | 74,189 | 89,350 |
| 四半期純利益 | 141,081 | 176,388 |

- (3) 四半期財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|--------------|------------------------------|
| | 卸売部門 | 飼料工場 部門 | 食品加工場 部門 | 冷蔵工場 部門 | 不動産賃貸 部門 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 30,412,319 | 969,830 | 292,821 | 450,472 | 83,713 | 32,209,157 | — | 32,209,157 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 34,342 | — | 10,802 | 88,791 | — | 133,936 | △133,936 | — |
| 計 | 30,446,661 | 969,830 | 303,624 | 539,263 | 83,713 | 32,343,093 | △133,936 | 32,209,157 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 332,267 | 45,517 | △29,578 | 61,515 | 46,542 | 456,264 | △307,979 | 148,285 |

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△307,979千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食品加工場部門」セグメントにおいて、食品加工場について建物等の帳簿価額が回収可能価額を下回ったため回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(35,348千円)として特別損失に計上しております。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|--------------|------------------------------|
| | 卸売部門 | 飼料工場 部門 | 食品加工場 部門 | 冷蔵工場 部門 | 不動産賃貸 部門 | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 30,371,519 | 1,209,848 | 335,601 | 453,944 | 82,656 | 32,453,570 | — | 32,453,570 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 72,563 | — | 12,198 | 86,220 | — | 170,982 | △170,982 | — |
| 計 | 30,444,082 | 1,209,848 | 347,799 | 540,164 | 82,656 | 32,624,553 | △170,982 | 32,453,570 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 343,781 | 63,924 | △24,939 | 64,874 | 47,894 | 495,536 | △295,566 | 199,970 |

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△295,566千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。